あいち観光戦略 2027-2030 の概要

1 基本的な事項

策定の目的	愛知県観光振興基本条例が掲げる「魅力ある活力に満ちた地域社会の実現及び県民生活の向上」に寄与するため、本県の観光振興に関する施策を総合的かつ計画的に推進する
期　間	2027 年度～2030 年度（4年間）

2 愛知の観光を取り巻く状況

①社会経済情勢の現状と今後の見通し	②観光マーケットの現状と今後の見通し
人口減少や人手不足が進む一方、デジタル技術の進展、脱炭素・環境配慮への高まり、働き方・休み方、各種リスクへの対応も必要となっている。 ・人口減少下における交流人口の重要性 ・AI をはじめとするデジタル技術の進展 ・働き方・休み方の変化　など	観光需要が回復・拡大し、観光の産業としての重要性が高まっている。一人当たりの消費を高め、旅行者ニーズに応じた対応が求められている。 ・世界の国際観光市場の回復・拡大 ・国内旅行市場の規模と安定性 ・MICE 市場の回復　など

3 「あいち観光戦略 2024-2026」の評価・課題

	インバウンド需要の取り込み	国内観光需要の取り込み	MICE の誘致
取組・評価	高付加価値・発酵食文化等の観光コンテンツの造成・販売支援、多言語での情報発信等を実施し、地域資源の磨き上げから販売までをつなぐ取組や、地域一体で魅力を発信・提供する基盤づくりが進展した。	大河ドラマ「豊臣兄弟！」やジブリパークを活用した周遊促進、体験型観光コンテンツの造成・販売支援等に取り組み、県内周遊の促進と、観光コンテンツを予約・購入できる仕組みの充実が図られた。	大規模 MICE の誘致・開催支援や官民連携による情報発信等に取り組み、誘致・開催実績の蓄積と、地域が連携して MICE を受け入れる基盤づくりが進展した。
課題	・空港・新幹線駅や海外ビジネス客の人流を、本県での宿泊・消費や県内各地域への周遊に十分に結び付けられていない。 ・広域的な誘客、市場特性に応じた認知度向上、造成した観光コンテンツの継続的な販売・利用には強化の余地がある。	・多様な旅行目的に対応した体験の充実と利用促進、継続的な磨き上げが必要。 ・ターゲットに応じた情報発信を来訪・予約につなげるとともに、県民による観光価値の再評価や推奨意向の向上を図り、集客施設等への来訪を県内各地への周遊・宿泊・消費へ広げることが求められる。	・主催者候補の開催意向や誘致案件を早期に把握し、関係者の専門性やネットワークを具体的な誘致提案につなげることが必要。 ・産業集積、MICE 関連施設、地域資源を開催地としての差別化に生かし切れておらず、人材、主催者支援、MICE コンテンツにも充実の余地がある。

観光地経営体制の強化と持続可能な観光地域づくり	
取組・評価	休み方改革による平日・閑散期の旅行機会の創出、データを活用したマーケティング、人材育成、生産性向上、受入環境整備等に取り組み、観光需要の平準化やデータに基づく施策立案・改善が進展した。
課題	・地域によって、関係主体の役割分担や目標の共有が十分に定着しておらず、地域を継続的にマネジメントする機能に差がある。 ・観光関連産業の担い手不足やデータを根拠とした判断・検証が十分に定着しておらず、災害時等や多様なニーズへの対応、住民生活・環境・文化との調和、交通結節点の活用及び観光振興に対する県民の理解に課題がある。

4 目指すべき姿

世界から選ばれ続け、地域とともに価値を育む観光県・あいち
－交流・成長・共創による持続可能な観光地域づくり－

5 数値目標・関連指標

KGI	観光消費額単価	日本人　9,900 円 外国人　140,000 円
	延べ宿泊者数	全体　2,500 万人泊 （うち日本人 1,800 万人泊 うち外国人　700 万人泊）
	観光消費額	全体　1 兆 7,000 億円 （うち外国人　6,000 億円）
関連指標	満足度	全体 70.0%、外国人 70.0%
	推奨意向	県民 40.0%、県外在住者 50.0%
	再訪意向	県外在住者 100.0%、外国人 100.0%
	観光入込客数	全体 1 億 1,530 万人回
	観光振興への理解・共感度	対日本人旅行者 100.0%、対外国人旅行者 65.0%
	国際会議開催件数	260 件

6 施策の柱と施策の方向性

目指すべき姿を実現するため、本戦略では、施策を 4 つの柱に整理。

インバウンド需要の取り込み	国内観光需要の取り込み	MICE の誘致
1. 地理的な優位性の活用 2. 産業集積地を生かした海外ビジネス客による消費・周遊促進 3. 戦略的な PR・プロモーションの実施 4. 広域連携による誘客と域内周遊の促進 5. 地域資源の高付加価値化	1. 旅行者の趣味・嗜好や旅のスタイルに応じた魅力的な体験の創出 2. 地域資源の高付加価値化 3. 戦略的な PR・プロモーションの実施 4. 県民による愛知の観光価値の再評価 5. 特定の地域に偏る需要を分散し、県内各地への訪問を促進	1. 多様なステークホルダーとの連携強化 2. 受入環境の整備 3. MICE 関連施設の活用促進 4. MICE 開催地としての PR・プロモーションの強化

観光地経営体制の強化と持続可能な観光地域づくり	
1. 多様なステークホルダーとの連携強化 2. 旅行者の安全・安心の確保 3. 観光産業の活性化 4. 県民に対する観光振興の意義の普及・啓発	5. AI 等のデジタル技術とデータを活用したマーケティングの推進 6. DMO を核とした持続可能な観光地域づくりの推進 7. 交流拠点機能の最大化 8. 観光需要平準化の促進

7 推進体制

